

④ 田植えの準備と田植え 〈4月中旬～5月中旬〉

(2)

④ 田植え 〈5月中旬〉

庄内平野では、5月10日ころから、田植え機の軽快な音がひびきわたります。このころに田植えされた田んぼでは、実りの条件に最も適した8月10日ころに穂^ほが出そろいます。

田植え機で植えるのに適した稚苗は本葉が2.5枚くらいころの苗で、長さが12センチメートルくらいです。植える苗の数は、土の性質や品種のちがいで少し異なりますが、平均すると1平方メートル当たり22株で、1株に5～6本くらいまとめて植えます。

昭和45年ころまでは、大ぜいの人が1株ずつ手で植え、1人1日10アール*ほどを植えたようですが、田植え機を使うと2人の組作業で1日2ヘクタール*くらい植えることができます。

* 10アール=10メートル×100メートルの広さ (1000平方メートル)
2ヘクタール=100メートル×200メートルの広さ (2万平方メートル)
(1ヘクタールは100アールと同じ広さです)

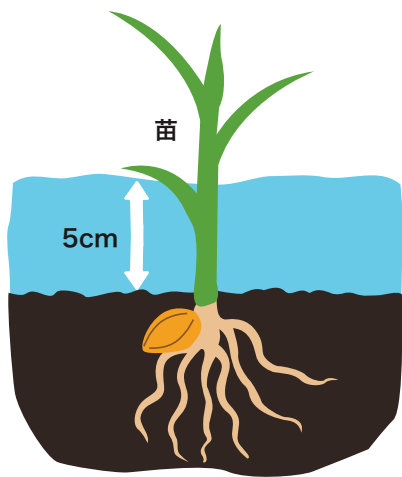


現在の田植えのようす



昔の田植えのようす
(家族みんなで何日もかかりました)

⑤ 田の水を管理する 〈5月中旬～9月上旬〉



水には保温の効果があります

田植えのあと、苗から新しい根が出るまでは、田植え後の気温や田んぼの水温、風の強さによっても変わりますが、だいたい5日から一週間くらいかかります。田植えの直後は、新しい根が出るのを助けるため、しばらくの間田んぼの水をやや深め(5センチメートルくらい)にして、寒さや風から赤ちゃん苗を守ってやります。